



高梁市社会福祉協議会広報紙

第15号

発行  
 社会福祉法人  
 高梁市社会福祉協議会  
 ・高梁総合福祉センター内  
 ・電話 (0866) 22-7243



## シルバーパワーで地域に貢献

### シルバー人材センター会員が草刈作業

高梁市シルバー人材センターは、夏には事業所や官公署などから草刈りの受注が多く、この日は会員10人が草刈作業を行いました。

また、この時期には一般家庭からの草取りや庭木の剪定の依頼も多く、約300人の会員は需要にお応えするよう、日々作業に取り組んでいます。

#### もくじ

会費ご協力のお礼 ……………②	支会だより ……………⑤～⑥
夏のボランティア体験事業 ……………③～④	寄付 ……………⑦～⑧

# 会費ご協力のお礼

高梁市社会福祉協議会 会長 平田重光

厳しい夏もようやく去ろうとしています。皆様方にはご家族お揃いでご健勝にお過ごしのこととお慶びを申し上げます。

会員制度実施にともない、年費のご協力状況の報告に当たり、ご挨拶を申し上げます。

行政の厳しい財政事情と少子高齢社会のなかで、すべての人々が住み慣れた地域で安心感を持ち暮らしていくためには、それぞれの地域社会で「ささえあい たすけあい」の地域福祉づくりを推進する必要があります。

その重要な柱の一つとして、各地域で福祉委員の皆様にお集まりをいただき、会員制度の実施について、趣旨の説明を行い、年会費のご協力をお願い申し上げます。

福祉委員の方には担当町内で活動をいただき、多くの市民の皆様にご理解をいただき年会費

のご協力を賜っております。

また、法人会員、ふるさと会員、特別会員の多くの皆様からも暖かいご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

市内外のご協力をいただきました多くの方々のお心を大切に役員一丸となり緊張感と使命感を持ち地域福祉向上に尽力して参ります。

私は、このたびの会員制度実施に当たり多くの方々のご意見をいただく中、ご意見の真意を静かに考えました。そして「ささえあい たすけあい」の地域福祉づくりの必要性は理解できても、会費が真に地域福祉づくりに役立つ使い方をするかどうかと、不安をお持ちのように思われました。

市民皆様に社会福祉協議会の活動にご理解と信頼をいただくためには、協議会の情報を今以上に多く提供し、市民

皆様と共に歩む姿勢が大切であると感じているところであります。

会費の用途につきましては、「ささえあい たすけあい」の地域福祉づくり事業での新しい福祉ニーズへの対応、地域福祉活動の中心で活躍をいただく福祉委員の方々に情報提供の研修会の開催、「ささえあい たすけあい」の地域福祉活動への支援事業等が考えられますが、市民皆様の意向を踏まえた地域福祉事業を行い、特に、会費は年度単位で収支を明らかにし、市民皆様の不安の解消に努めて参りたいと考えています。

社会福祉協議会役員は、一人でも多くの皆様に地域福祉づくりの大切さをご理解していただく努力を続けて参りますので宜しく願いを申し上げます。

初秋の好季節を迎え、皆様のご多幸をお祈りいたします。



ご協力いただいております会費の八月末現在の状況は次のとおりです。ご協力ありがとうございます。



普通会員	6,735人	6,838,000円
法人会員	17件	52,000円
ふるさと会員	47人	231,000円
特別会員	24人	130,000円
合計	6,823人(件)	7,251,000円

# 2007 夏のボランティア体験事業

## 中高生百五十七人が活動

高梁市社会福祉協議会はボランティア活動の実体験をとおし、社会福祉について理解を深め、積極的に活動に参加するよ

様な出会いの中から新しい発見や「ともに生きていく」視点を育むことを目的として、毎年行っており、今年は百五十七人が活動しました。

## 自身の体験からアドバイス 事前研修会で鶴海さん

この事業は、ボランティア活動に関心のある方が社会福祉施設や地域のボランティア団体で

事前研修会を七月二十二日、高梁総合福祉センターで開催しました。



事前研修会に参加の生徒

吉備国際大学社会福祉学部福祉ボランティア学科四年の鶴海誠大さんが自身の体験に基づき「活動では、あいさつを忘れないことと話しかけられるのを待つのではなく、積極的に話しかけること。また、目標を持って活動をしてください」とアドバイスをしました。その後、参加者は市内の施設、団体の活動先ごと十七グループに分かれ、各担当者と活動の日



自身のボランティア体験を話す鶴海さん

時や内容について話し合いをしました。

## 高齢者へパワーを 高齢者料理講習会で

七月三十一日、高梁総合福祉センターで開催された高齢者栄養改善料理講習会では、中学生八人が活動をしました。参加した高齢者の方は「生徒の皆さんから若いパワーをもらいました。やさしく接してくださり、楽しく講習会に参加できました」と話されました。



8人が活動した高齢者料理講習会

また、活動した女子生徒は「言葉づかいや言われたことを手早くするように心掛け、楽しく活動できました」と話し、受け入れボランティア団体からも生徒に感謝の意を伝えておられました。

## 利用者と積極的に会話 老人保健施設で

八月九日、十四人が老人保健施設で活動しました。生徒の一人は「高齢の方と話す機会は日頃少ないが、会話をしているとやさしい気持ちになった。また、仕事の多さに驚き

ました」と話し、施設利用者は「若い人とふれあい、気持ち明るくなりました。生徒の元気な姿を見ていけば、思わず微笑み顔になります」と話されました。受け入れ施設では「生徒たちは進んで話しかけたり、お世話をしてくれました」と話されました。

午後から生徒達は、魚釣りなどのゲームで施設利用者ともふれあいました。



高齢者とふれあう中学生

**多くの出会いと貴重な体験**

**事後研修会で発表**

八月二十九日、高梁総合福祉



学童保育での活動

センターで、夏のボランティア体験事業に参加した生徒と受け入れ施設・ボランティア団体の方の出席をいただき、体験の成果について話し合う事後研修会を開催しました。

生徒は活動先ごとにグループに分かれ、体験をおしての感想や将来に生かしたいことなど意見交換を行いました。

印象に残ったことを高齢者関係施設で活動した生徒は「多くのお年寄りの方と少しづつではあるが、話ができるようになってきた」また「多くの方に喜んでもらい、ボランティアってすごいと思った」といった感想がありました。

各グループの代表者は、それぞれでまとめた内容について発表をしました。



手話ボランティアの活動

また、貴重な体験の場を提供いただいた受け入れ施設の方とボランティア団体の方からは、生徒達への感想と事業に対する助言をいただき今年夏のボランティア体験事業を終了しました。



事後研修会で意見交換



グループごとに発表する生徒

地域の福祉、みんなで参加  
**赤い羽根共同募金**  
 10月1日▶12月31日

十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金が始まります。各戸募金や街頭募金、バツジ募金、法人募金にご協力をお願いします。

**ご協力を  
 お願いします**

# 支会だより

## 成羽

### 三百五十人がはつらつプレイ

健康福祉まつり成羽

九月二日、健康福祉まつり成羽が成羽総合福祉センターなど四会場で行われました。

これは、生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりに努め、健康長寿の延伸と地域福祉活動意識の高揚を図ることを目的として行われました。

競技種目のチャリティーゴルフ、ソフトバレーボール、ゲートボール、ビリヤード、輪投げ、ピンボウリングに総勢三百五十人が参加。仲間と交流を深め、はつらつとプレイをされていました。



プレーを楽しむ参加者

恒例のチャリティーゴルフ大会では、十二万三千四百十円の募金があり、成羽支会と主催の健康福祉まつり成羽実行委員会へご寄付いただきました。

## 備中

### ゲートボール大会に42人が参加

七月二十

七日、備中支会と備中

地域老人クラブは高齢者ゲートボ

ール大会をやすらぎの

里グラウンドで開催しました。高

齢者の生きがいづくり

やふれあいが目的で六チーム

四十二人が参加。開会式では九十歳を超えて元気に参加された選手に記念品を贈り長寿をお祝いしました。この日は天候に恵まれ、気



温も高くなりましたが、選手の一人は「今日の暑さならまだ大丈夫。皆さんと楽しく頑張っています」と話されました。歓声や笑顔が見られるなかで日頃の練習の成果を競い合いました。

### やすらぎ荘を訪問

湯野子供神楽育成会

八月二十三日、備中デイサービスセンター（やすらぎ荘）に湯野子供神楽のボランティアア七人の訪問がありました。訪問は毎年夏休みにあり、利用者には楽しみにしています。

猿田彦の舞、事代主の命や大国主の命の舞など約二時間の熱演に楽しいひとときを過ごした利用者は「子供の舞がかわいくて感動した」と話されました。



神楽を熱演するボランティア

## 高梁

### 折り紙や童謡を楽しむ

高梁地区ミニデイサービス

七月十三日、高梁総合福祉センターで高梁地区ミニデイサービスが実施されました。

この日は、利用者とボランティア約四十人が、牛乳パックを再利用した折り紙で、思い出の紙人形を作りました。

また、高梁ハーモニカ倶楽部の演奏会では「海」など童謡をみんなで口ずさみ交流を深めました。

参加者は「折り紙をするのは久しぶり。子供の頃を思い出しながら楽しくできた。また、指先を動かすので頭の体操にもなった」と話されました。



思い思いに折り紙を楽しむ利用者

## 川上

## 野菜作りは、健康づくり

「ほのぼの荘」で種まき

八月二十九日、高齢者統合在宅支援施設「ほのぼの荘」の入居者と地域住民、職員は、入居者の生活向上や健康づくり、認知症予防などを目的に、施設の菜園に春菊やほうれん草、人参などの種をまきました。

菜園はほのぼの荘の西側にあり、ボランティアの協力を得て整備されました。

入居者は「収穫が楽しみです。次はどんな野菜を育てようかと話題も増えました」と話されています。



収穫を楽しみに種まきをする利用者

## 有漢

## 誕生日に花鉢を贈る

あじさいの会

ボランティアあじさいの会（加藤淑子会長）は、七十五歳以上の一人暮らしの方、寝たきりの方など現在九十九人を対象に、友愛訪問活動を行っています。

誕生日の月には、かわいい花鉢のプレゼントを持って訪問し、大変喜ばれています。

会員らは「高齢者の元気な顔を拝見できるのが楽しみ。また、困っていることはないかなど少しでも役立てることをとって訪問しています」と話されました。



花鉢を贈るあじさいの会会員（左）

## お知らせ

## 「声の広報紙」のご利用を

たかはし朗読の会

「たかはし朗読の会」では、視覚障害の方に社協や市からの情報をお知らせしようと『ふれあい福祉』『広報たかはし』をカセットテープに録音した「声の広報紙」作りをしています。

このテープは、高梁総合福祉センターと高梁中央図書館で貸し出しを行っていますのでご利用下さい。

ほかにも童話や随筆などの「録音図書」の作成をしており、視覚障害者で利用を希望される方へは「声の広報紙」とともに無料郵送もします。知り合いで目の不自由な方がおられましたら声をかけて頂ければと思います。

また、朗読ボランティアに参加くださる方をお待ちしています。

お問い合わせ・申込先

高梁中央図書館

TEL 2912

## シニアのための

## 無料「造園講習会」を開催

（社）岡山県シルバー人材センター連合会では造園アシスタント講習会を開催します。

▼講習内容 剪定の講義及び実技

▼受講対象者 概ね六十歳から六十五歳未満の働く意欲のある方

▼講習期間 十月九日（火）～十二日（金）の四日間

▼会場 高梁総合福祉センター（高梁市向町二一―三）

▼募集定員 二十五名

▼募集期間 九月十八日（火）～三十日（日）

▼申込方法 専用葉書での申し込みとなります。（専用葉書は社協本所・各支所にもあります）

お問い合わせ・申込先

（社）岡山県シルバー人材センター連合会

岡山市下石井二一―三

岡山第一生命ビル10F

TEL 086―235―0128

# 社会福祉協議会へのご寄付

19年7月~8月

## ありがとうございました

高梁市社会福祉協議会へ平成19年7月と8月にいただいたご寄付についてお知らせします。心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

### 〔香典・玉串料・御花料返し〕

#### 《高梁支会へ》

金一封 川上町 土田 貢

(故・関治様のー)

金一封 中井町 岩本 始

(故・綾子様のー)

金一封 川面町 藤成 節子

(故・忠夫様のー)

金一封 川端町 原田美智男

(故・好章様のー)

金一封 本町 太田 明

(故・太田露子様のー)

金一封 川端町 野瀬 達助

(故・壽様のー)

金一封 倉敷市 植野 昭夫

(故・秀夫様のー)

金一封 松山 川上 隆志

(故・順一様のー)

金一封 落合町 太田 伯男

(故・君代様のー)

十万円 落合町 池本 正市

(故・良太郎様のー)

金一封 津川町 伊達 弘晃

(故・進様のー)

金一封 奥万田町 山下 雄三

(故・ヲサオ様のー)

金一封 松原町 赤木 政美

(故・武夫様のー)

金一封 浜町 竹田 佳裕

(故・卓弘様のー)

金一封 中井町 畑 かよ

(故・寛一郎様のー)

金一封 奥万田町 三村 俊英

(故・寛一郎様のー)

金一封 (故・順子様のー)  
栄町 行藤 潔

(故・茂様のー)

金一封 下谷町 原田 真吾

(故・寿栄子様のー)

金一封 上谷町 大久保郁子

(故・讓様のー)

金一封 巨瀬町 福瀧 昇

(故・鈺代様のー)

金一封 宇治町 青梨 勝三

(故・テルコ様のー)

《津川地区へ》

金一封 津川町 伊達 弘晃

(故・進様のー)

金一封 津川町 難波 里志

(故・廣治様のー)

《川面地区へ》

金一封 川面町 藤成 節子

(故・忠夫様のー)

《巨瀬地区へ》

金一封 岡山市 行藤 元

(故・育治様のー)

金一封 巨瀬町 福瀧 昇

(故・鈺代様のー)

《中井地区へ》

金一封 中井町 岩本 始

(故・綾子様のー)

金一封 中井町 国重 忠稔

(故・敏男様のー)

金一封 落合町 池本 正市

(故・良太郎様のー)

金一封 中井町 楠木 英雄

(故・時江様のー)

《宇治地区へ》

金一封 宇治町 森田アイ子

(故・壽雄様のー)

金一封 宇治町 入江 忠弘

(故・琴様のー)

金一封 宇治町 青梨 勝三

(故・テルコ様のー)

《松原地区へ》

金一封 松原町 平松 茂秀

(故・ヨシノ様のー)

金一封 松原町 赤木 政美

(故・武夫様のー)

《落合地区へ》

金一封 落合町 太田 博

(故・清江様のー)

金一封 落合町 佐藤 勝

(故・テルコ様のー)

金一封 落合町 太田 伯男

(故・君代様のー)

金一封 落合町 池本 正市

(故・良太郎様のー)

金一封 落合町 住田榮美子

(故・勉様のー)

金一封 落合町 松尾 新治

(故・行雄様のー)

《有漢支会へ》

金一封 有漢 森岡 守

(故・信子様のー)

金一封 有漢 河原 和徳

(故・篤様のー)

金一封 有漢 立藤 裕子

(故・初代様のー)

五万円 有漢 蛭田 茂

(故・須恵子様のー)

《成羽支会へ》

五万円 下原 松川 知幹

(故・美博様のー)

金一封 坂本 小川布美恵

(故・文三郎様のー)

金一封 下日名 平松 伸行

(故・照次様のー)

金一封 岡山市 逸見 正行

(故・昭子様のー)

五万円 下日名 黒川 頼雄

(故・正平様のー)

《川上支会へ》

金一封 領家 佐々木哲男

(故・柁雄様のー)

金一封 高山 丸川 昌子

(故・良一様のー)

金一封 上大竹 大塚 源次

(故・みつゑ様のー)

金一封 領家 高石 和信

(故・惠喜夫様のー)

《備中支会へ》

金一封 西山 井上 嗣宣

(故・芳子様のー)

金一封 東油野 物部 敏子

(故・美紀様のー)

金一封 平川 瀬戸川郷海

(故・弥與乃様のー)

金一封 西山 市林とみ子

(故・昭和様のー)

金一封 岡山市 西道 通博

(故・堅様のー)

〔一般寄付〕

《高梁支会へ》

金一封 匿名

(社会仕として 第二七八・二七九回)

金一封 原田北町 高鳥 蓉子

(退院内祝いとして)

《川面地区へ》

金一封 川面町 西村 栄一

(退院内祝いとして)

《玉川地区へ》

金一封 玉川町 渡邊 芳雄

(退院内祝いとして)

《有漢支会へ》

金一封 有漢 平岡 貢

(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 本城 禧子

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 川上 善恵

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 秋葉 茂

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 田仲 しま

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 上森クニエ

(内祝いとして)

金一封 有漢 木本つるよ

(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 野田 定茂

(退院内祝いとして)

金一封 有漢 田中カヅエ

(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 塚本 瀧湖

(退院内祝いとして)

金一封 上有漢 谷口 歳恵

(内祝いとして)

金一封 上有漢 小林深由紀

(退院内祝いとして)

《川上支会へ》

金一封 仁賀 亀石佐智子

(退院内祝いとして)

金一封 下大竹 山内 章良

(退院内祝いとして)

金一封 地頭 藤本 勇

(退院内祝いとして)

金一封 高山 渡邊 龍馬

(退院内祝いとして)

《備中支会へ》

金一封 布賀 内田 芳男

(一般寄付として)

金一封 東油野 嶋池 角夫

(退院内祝いとして)

金一封 東油野 村上 伯男

(退院内祝いとして)

金一封 平川 上平 照整

(退院内祝いとして)

金一封 布賀 村上 昌介

(退院内祝いとして)

金一封 西油野 堂處 源一

(退院内祝いとして)

金一封 平川 西田 謙次

(退院内祝いとして)

金一封 東油野 堂前 進

(退院内祝いとして)

金一封 東油野 二五埜秀代

(退院内祝いとして)

金一封 西油野 田邊喜志夫

(退院内祝いとして)

7月15日発行(第14号)に  
次の方の掲載がありません  
でした。お詫びして掲載い  
たします。

《津川地区へ》

金一封 津川町 後安 彰男

(故・富恵様の香典返しとして)

認知症研修会

日時 十月十四日(日)

十二時三十分 開会

会場 高梁市川上総合学習セ

ンター

講演 「ボケてたまるか!

21世紀の正しい老い方」

神奈川県湘南長寿園病院長

フレディ松川 先生

演奏・合唱

井原吹奏楽団メルヘンウイ

ンドアンサンブル コール

フロアレス

劇 「おばあちゃんがかわつ

た」劇団やたか

主催 高梁市川上地域認知症

研修会実行委員会

問い合わせ

地域包括支援センター川上ス

テーション

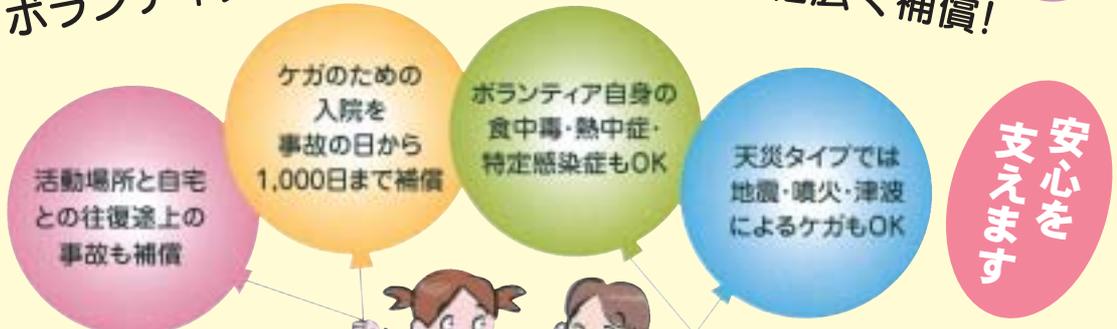
TEL 4184

社会福祉協議会川上支所

TEL 9770

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!



掛 金	A プラン.....280円
	B プラン.....460円
	C プラン.....650円
天災危険補償タイプもあります。	



お問合せやご相談は・・・  
高梁市社会福祉協議会  
(本所・各支所)まで